

ひと・夢・まち 町長コラム

～おしん：橋田壽賀子さんと佐藤幸子さん～（令和3年7月号） 番外編 vol.03

先日、日本の宿・古窯の創業女将の佐藤幸子さんのお話を聞く機会をいただきました。先頃、「おしん」の原作・脚本を手がけた脚本家・橋田壽賀子さんが亡くなりましたが、お亡くなりになるひと月前、ひまわり温泉ゆ・ら・らにおいて、岩谷での「おしん」撮影時の写真展企画が計画されたので、女将さんから橋田先生に連絡してくださったということでした。体調がすぐれない中ご了解いただき、そのイベントは先月末まで開催され、多くの来館者から見ていただき、また一つ宝物をいただきました。橋田先生は人とのご縁をととても大切にされる方で、とりわけ自立する女性を励まし続けられたというエピソード等を女将さんからお聞きし、これからの時代を垣間見た気がしました。

「おしん」は、世界の人々の心に染みる日本の物語として愛され、撮影当時（昭和58年1月1日）の3人のおしん（乙羽信子さん、田中裕子さん、小林綾子さん）と橋田壽賀子さんが写る1枚1枚は貴重な記録であり、当町にとっても自慢できる歴史の1頁です。これから当町に訪れていただいた方々に伝え続けることができれば、中山町に縁を持っていた橋田先生に対しても供養になるのではと思います。縁をつないでいただいた女将さんにも感謝です。